

政治学説史ゼミナール

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学政経資料センター 公開日: 2012-05-24 キーワード: 作成者: 倉塚, 平 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/12533

政治学説史ゼミナール

倉 塚 平

このゼミナールの主眼は、なによりも文章をまとめあげる能力を培うことにある。それゆえ、前期では4月中に全員に匿名でレポート10～20枚を書かせ、各回のゼミナールで3本ずつ非執筆者が読み上げ、全員でそれを論評するという方式をとった。匿名とした理由は議論を活発化することにある。テーマは16世紀から現代に至るまでの政治思想のいずれを選んでよいとした。この方式を通じて、ゼミ員はそれぞれ興味ある対象について原典に当って研究を深めることができるようになったと思われる。後期は4年生が就職で多忙だったため、3年生が主力になり、フランス革命から現代に至るフランス史のハイライトについて、10回にわけて分担報告をした。夏の合宿で意気投合してこのテーマを選んだため、すぐれた報告が続々となされるようになり、近来まれな稔りをあげることができた。

